



果てしない砂漠を目的地も決めず、歩き始めて10年の2014年、前は変わらない砂漠が続く。振り返ると、小さな100の足跡に、小さな水たまりができています。命のみずたまりが。

読者のみなさまはじめ、多くの方々の支えがあって、100号を迎えることができました。未熟な私たちとニュースにご理解・ご支援をいただき心より、お礼を申し上げます。

21世紀中に、今後の地球が再生可能な星として生き残れるかどうかの運命が決まると予測されています。次世代の市民である板橋区の中学生の決意〈SOEのエネルギー

の授業を受けて〉「地球を守り、私たちが大人になったらエネルギーについて中心になって問題を解決していきたい。」「わたしたちの未来のために自然を増やす。」と。

200号を目指し、これからも、実践家集団のNPOとして、命の種を育てるニュースを目指し、みなさまと共に一步また一步進んでまいります。これからも、ご指導ご支援よろしくお願い申し上げます。



2014年度のプログラム作り第一弾  
〈木のプログラムづくり〉



## センスオブアース ニュース100号おめでとう！

東京学芸大学名誉教授 佐島群巳氏・日本女子大学教授 田中雅文氏  
板橋第二小学校校長 長沼和人氏・天津わかしお学校校長 本間信治氏  
東京家政大学准教授 生涯学習ゼミ 宮地孝宜氏  
板橋区教諭 金子桂太氏・蓮根第二小学校地域コーディネーター増田隆氏  
板橋野鳥クラブ会長 栗林菊夫氏・日本野鳥の会 東京 川内桂子氏  
板橋母親連絡会会長 栗原春江氏・板橋退職教職員の会 鶴見篤子氏  
同会 林斐子氏 他多数のみなさま・会員一同



ニュースでは、幼児から小中学生大学生、社会人に向け、1万人以上の人々に環境学習プログラムを提供した実践を掲載してまいりました。



# 上板橋小産 みそづくり実施 7月1日



昨年も、6月に仕込んだみそがおいしく出来て、また、今年度も暑い季節に入った、7月1日に上板橋小学校の5組さんと3年生の合同で、みそづくりに挑戦しました。

SOEのスタッフとして、家政大の宮地孝宜ゼミの学生4年生5人が参加。以下、学生たちの声をお聞きください。

**丸山怜奈さん**—このプログラムの最後にみんなで飲んだお味噌汁の味を、私は忘れることができません。感激してしまうほどおいしかったです。大豆を踏んで丸めて投げて、あっという間に味噌はかたちになりました。大豆を足でつぶす感触や、麴のにおいは記憶に残るものとなり、また、協力しながら一生懸命につくっている子ども達の笑顔は、とても心に響きました。そして、大豆がたくさんの食材に生まれ変わる、しかしその大豆の自給率は5%という日本の現状は、クイズや説明だけでなく、おいしい国産大豆の味噌を子どもたちがつくり、食べたからこそ、より深く伝わったように思いました。

**横手美咲さん**—下準備として、60人分のお味噌汁を作ったのですが、この人数分の料理をするのは初めてでした。良い経験になりました。作り方、大豆の加工品、自給率と、様々なことを学びました。この学びをすぐ子どもに伝えていくことに責任を感じました。しかし、私たちの発信だけを学ぶのではなく、生徒たちがお互いに注意したり、真似をしたりしていたのを見て、このような体験学習の良さを見ることが出来たのがよかったと思います。

**佐藤友香さん**—生徒達は塩・麴を混ぜる作業や袋に入れた大豆を踏む作業など、味噌を作る作業を楽しそうに行っていました。私も大豆を踏む作業をさせていただいたので楽しく、貴重な経験をすることができました。今まで味噌を作る過程を見たことがなかったので、どの作業も勉強になりました。最後に頂いたお味噌汁もとても美味しかったです。



**五十嵐彩さん**—子どもたちと一緒に味噌作り、始まる前は少々緊張していましたが、始まっ

てみると子どもたちの楽しそうな様子につられて私も楽しみながら参加することが出来ました。特に5組さんの子どもたち



みそづくり体験を聞く家政大生

の作業に積極的に取り組む様子や3年生の子にも気を配り話しかけている様子がとても頼もしく、私も見習わなければと感じました。今回子どもたちと一緒に味噌を手作りする達成感や手作り味噌の美味しさを味わうことが出来て、改めて参加できてよかったと感じました。

**田島綾子さん**—児童たちの方から積極的に声をかけてくれて自分も楽しむことができました。みそづくりは初めてでした。クイズでの勉強、班の児童と行った味噌の仕込み、手作りの味噌でつくったみそ汁の試食、自然の恵みや力を実感できたと思います。自分自身の学習にもつながったなと感じました。



## 「エネルギー源を比べて、環境負荷の少ないエネルギーを考えよう」



真剣に話を聞く

### 板橋第六小学校 5年生 6月21日

エネルギー問題は、節電や省エネといった取組を身近なものとして、小中学校でも積極的に取り組まれています。省エネも含み、持続可能なエネルギーについて考えていく第一歩として、3つのエネルギー源を中心に、自給可能か、環境負荷などの長所短所について

を出し合って考え合いました。

**西川先生**「5年生には少し難しいところもありましたが担任、児童それぞれにエネルギーについて考えていかなくは!」と思わせていただきました。今後も、子どもたちとエネルギーや環境問題について考えていきます。」



「うちわで発電、おもしろい!!」

#### 発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052  
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp